

生徒一人ひとり、自らが考える課題解決型教育のあり方

# 特集「21世紀型教育」のメソッド

SPECIAL FEATURE



2016年7月12日、「私塾界リーダーズフォーラムin大阪」にて収録

## 「21世紀型教育」の3本柱 ～未来に活躍できる人を育てるために～

ご存知の通り、聖母被昇天学院中学校高等学校は、2017年4月から「アサンブション国際」に校名を変更。教育内容はもとより男女共学化し、学校全体を大きく改革いたします。共学にする大きな理由のひとつは、グローバル社会を見据えた多様化への第一歩として、女子も男子も一緒に学べる教育環境にすべきとの考えがあるからです。今や世界中の国々がグローバル化の波にさらされ、それに伴い我が国の教育界も大きな変革期に直面しています。2020年度より始まる大学入試改革の話題は、今や教育界や受験業界のみならず、幼児から中学生までのお子様をお持ちの保護者の方にとっても、大きな関心事ではないでしょうか。同時に、どんな入試改革になるのか、小中高の学びはどう変わるのかと不安を抱いている方もいらっしゃると思います。先の見えない不安な時代に、中学校・高等学校として何ができるのか。そのひとつの回答として、本校は「21世紀型教育」と名付けたメソッドをつくり、教育改革に着手いたしました。



## 「21世紀型教育」は、

1. 英語教育(イマージョン教育)
2. アクティブラーニング型授業
3. ICTを活用した多角的な教育

の3本柱を軸にした教育を実施していきます。

## 1 英語教育(イマージョン教育)

「英語教育(イマージョン教育)」ですが、本学院はカトリック校ですから、世界の約30カ国にネットワークがあり、留学生を受け入れたり、各地の修道会の方々をお招きするなど、ネイティブな英語に自然に触れることができる環境があります。授業以外にもネイティブ教員と一緒にランチをしたり、もちろん日本人の英語教員たちも部活を通じて「ここは英語で話そう」などと、カリキュラム以外で楽しく英会話をしたり。つまり、英語の授業の中だけで「教える」のではなく、「英語とおつきあひする」という考え方こそが重要であり、その環境づくりを積極的に行っています。教科も同様の考え方で、英語はもとより、主に数学・理科の授業を英語イマージョンで実施し、自然な英語運用能力を育みます。日々のすべてのコミュニケーションの中で英語が通じる喜びや楽しさを与えることが、イマージョン教育の真髄だと考えています。



「イマージョン教育」による授業風景。

## 2 アクティブラーニング型授業

「アクティブラーニング型授業」ですが、自分で問題を見つけて解決する、オリジナリティやクリエイティビティを発揮できる環境をつくります。従来的一方通行型の講義で知識を詰め込むのではなく、新たなアイデアを創造する「知恵と実行力」を身につける教育を行い、生徒同士が議論し合い、自ら考えてワクワクと目を輝かしながら学ぶことに没頭できる授業を目指します。



能動的学習能力を育む「アクティブラーニング型授業」。

## 3 ICTを活用した多角的な教育

「ICTを活用した多角的な教育」については、最新のIT機器の活用により、生徒一人ひとりの個性に応じた授業展開を可能にします。今後は試験もコンピューターベースになっていき、テクノロジーが社会を、未来を変えていきます。先を見据え、ICT時代にうまく適応した教育が必要なのです。



デジタルツールを生かしたICT教育。

## 「21世紀型教育」で身につく! グローバル時代に必要な「英語力」。

本校では、これからのグローバル時代に必要とされる英語力のレベルは「C1」と考えています。この「C1」とは、CEFR(セファール:ヨーロッパ言語共通参照枠/Common European Framework of Reference for Languages)という語学コミュニケーション能力別レベルを示す国際標準規格です。2020年の大学入試改革に伴い、文部科学省もこの規格を導入。高校の次期学習指導要領では、日常生活に必要な基礎レベルA1、A2、市民生活に必要な応用レベルB1、B2、自由に自己表現ができる熟達レベルC1、C2のうち、B1までの英語4技能能力(読む、書く、聞く、話す)の習得を目標としています。

有識者である吉田研作教授(上智大学言語教育研究センター長、文科省英語教育改革ワーキンググループ座長、英語検定試験TEAP作成リーダー)も大学入学前に必要なのは、英語4技能のうちのいずれかがC1レベルであることと提言しています。はやくも、鹿児島大学は、来年の一般入試、推薦入試に外部の英語試験を全学部で導入すると発表。外部試験のスコア基準B2以上であれば、大学入試センター試験「外国語」の得点が満点(200点)となります。全学部での導入は国立大学では初でしたが、今後この動きは各大学で加速していくと考えられます。C1レベルの英語力は、大学進学にも大きく役立つでしょう。

6年間の英語漬けで、みんな帰国子女なみの語学力!

資格・検定試験CEFRとの対照表

2016年5月31日現在

CEFR	Cambridge English	英検	GTEC CBT	GTEC for STUDENTS	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEFL Junior Comprehensive	TOEIC/TOEIC S&W
C2	CPE (200+)	1級 (2630-3400)	1400		8.5 9.0					
C1	CAE (180~199)	準1級 (2304-3000)	1250 1399	980 L&R&W 810	7.0 8.0	400	800	95 120		1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160~179)	準2級 (1980-2600)	1000 1249	815-979 L&R&W 675-809	5.5 6.5	334 399	600 795	72 94	341 352	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140~159)	2級 (1284-1800)	700 999	565-814 L&R&W 485-674	4.0 5.0	226 333	420 595	42 71	322 340	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120~139)	準3級 (419-1650)			3.0	150 225	235 415		300 321	385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3級-5級 (419-1650)	-699		2.0					200-380 L&R 120~ S&W 80~

CEFRの基準による英語力レベルの指標一覧

C2	ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる
C1	広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる
B2	社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる
B1	社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる
A2	日常生活での身近なことがらについて、簡単なやりとりができる
A1	日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる
A0	ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる

※各資格・検定試験の得点とCEFRとの関連性について各試験団体が公表している結果をとりまとめたものです。英語力評価や大学入学選抜における目安の一つとしてご参照ください。



## 「21世紀型教育」の必要性と未来の社会

ほんの先の未来、つまり10年後、20年後には、経済・社会のグローバル化が急速に進み、海外に行かなくても街や職場で異文化の人々とのコミュニケーションを要求される社会となり、さらには人工知能の発達により、創造性を必要としない仕事はすべてテクノロジーに代行される時代になるとも言われています。生徒達にも自動運転車の話や、工場のベルトコンベアでの組み立て作業も人から人工知能のロボットへと代替されるなど、具体的な世の中の出来事を通して世界が変わっていくことを日頃の教育の中で示唆するなど、英語イマージョン教育・アクティブラーニング・ICT教育の必要性を伝えています。このように、これまでの教育方針では通用しない時代に入ることを鑑みると、これからは、創造力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力が欠かせません。その上で「21世紀型教育」が人材育成の肝となると確信しています。